

川崎市青少年育成連盟(川崎市子ども会連盟・ボーイスカウト川崎地区協議会・ガールスカウト川崎市連絡会・川崎海洋少年団)

育連だより

平成11年度中高生リーダー交流研修が終了する!!

平成11年度中高生リーダー交流研修は、9月5日より、育成連盟所属団体の中高生41名の参加を得てスタートし、2月27日の閉講式まで全8回の研修を行いました。

青少年の家での宿泊研修(10/30・31)では、各団体の活動を紹介したり、仲間作りのレクリエーションをしました。また、この研修の主題である「川崎新発見」では、各班で川崎のことを研究し、現地調査に行きました。そして、研修後半の黒川青少年野外活動センターでの宿泊研修(1/22・23)では、自分たちでプログラムを考え、ゲームや野外炊飯・餅つきなどを、企画から、実施まで役割を決めて行いました。

これからも、青少年育成連盟の団体がお互いに理解し、協力しあい、それぞれの団体がより発展していくように、交流研修を進めていきたいと思えます。



神奈川県知事表彰・神奈川県青少年問題協議会長表彰・川崎市長表彰を青少年育成連盟所属団体指導者34名が受賞

これらの表彰は、永年にわたり青少年の健全育成活動に功労された方々に授与されるものです。

各表彰を受けた方々を御紹介するとともに、永年の活動に感謝いたします。

《神奈川県青少年育成功労者表彰受賞者》

河合 武夫(ボーイスカウト)
丸山 多美子(子ども会連盟)

《神奈川県青少年育成活動推進者表彰受賞者》

関 規子(G. S) 長谷川 晃弘(子ども会)
長谷川 博之(B. S) 前山 幸雄(B. S)
宮本 幸雄(子ども会) 吉井 勇(子ども会)
渡辺 利(子ども会)

《川崎市青少年健全育成功労者表彰受賞者》

伊関 守(B. S) 今井園子(G. S)
上原幸雄(子ども会) 江沢康子(G. S)
岡芹弘幸(子ども会) 柏木 昇(子ども会)
亀山 鉦(子ども会) 氣賀澤正(子ども会)
久保キミイ(子ども会) 小島多加子(子ども会)
齋藤義光(子ども会) 坂本武美(B. S)
佐々木成幸(子ども会) 佐藤由香里(G. S)
庄司幹夫(子ども会) 須山拓昭(子ども会)
高橋 勝(子ども会) 高村喜久(子ども会)
坪根良雄(子ども会) 戸嶋吉重(子ども会)
仲根 透(子ども会) 南場千恵子(G. S)
福田 功(B. S) 北條賢一(B. S)
増田勝彦(B. S)

(敬称略)

イチゴ狩り (川崎海洋少年団)

3月5日日曜日、昨日の雨がうそのような天気に恵まれ、朝から気持ち良く晴れています。今日の活動は「いちご狩り」です。指導員1名、団員7名の計8名で行ってまいりました。

京急川崎駅より電車に揺られ約50分、ビルと住宅街を抜けだんだんと景色が山々に変わると、そこはもう「津久井浜駅」です。同じ神奈川県とはいえ畑があり、近くに海があり、緑と潮の香りのするのどかな雰囲気のある駅です。

津久井浜駅から20分くらい歩いて行くと目的地の「津久井浜農園」に到着します。天気の良いせいか大変な賑わいです。入園できないのではないかと不安になってきました。しかし、そんな不安もどこへやら、どうにか入園でき温室へ一歩入れれば沢山のいちごが目まぐるしく。「さあ、いくつくらい食べられるかな」皆、気合が入りました。

今日の横綱は25個も食べた〇〇君でした。とてもあま〜いいちごで大満足でした。

「熱血娘」立ちあがれ!! 熱き血潮の娘たち! (ガールスカウト)

熱血娘という言葉の響き、皆さんは何を想像するのでしょうか? 今年の地区レンジャー集会はメインテーマを「いろんな人に会ってみよう」に、野外料理、キャンプクラフト、ラッピング、お菓子作りなどのプログラムを3回に渡り計画しました。1年間で10名のレンジャースカウトと12名のリーダー、アダルトが参加、熱血娘を盛り上げました。「熱い人に出会ってみよう」と名付けた「熱血娘」でしたが、ガールスカウト以外からのゲストも参加したり、充実した集いとなりました。

スカウトからは「同じ年代で輝いている人に出会ってみたい」「仕事を持っていても常に夢を持ち続ける事はすごいと思う」などの感想も聞かれました。野外料理ではゲストと協力してのクラフト(竹を使ったキャンプクラフト)、ラッピングでは各自が持参した“私の宝物”を通して交流を深め、お菓子作りでは、旬のフルーツを使いパトロール毎に協力して作り上げました。毎回の熱血娘では、それぞれのテーマに沿ったプログラムを通

して、そこから見えてくる1人ひとりの考え、思いにも触れる事が出来ました。「年齢差なんか感じなかった」「もっとリーダー達と話をしてみたい」(スカウトより) 会を重ねる毎に参加人数も増え、これから更にスカウトの声が活かされるレンジャーの集いを目指して行こうと思います。



羽子板工作に (子ども会)

高津区子ども会連合会高津地区の行事として、平成11年11月14日(日)市立西高津中学校(三富学校長)のご協力をいただき中学校の木工室をお借りして行われました。当日は、別の会場で行われた子ども会バレーボール大会、会班研修が重なったため、運営役員がかけ持ちで運営をしました。午前11時に中学校の入口に集合し、地下の木工室にて製作をしました。参加者は、事前に各単位子ども会に募集をしましたが、別の行事と重なりな



おかつ初めての行事ということで心配をしましたが、幸い多くの子も達が参加してくれました。工作については、中学校側で事前に使用する電気糸ノコを各工作台に設置をしていただき、替えの替え刃も初めて使うということでした。作業の開始前に工作方法、機械の使用についての注意事項を説明をして工作に入りました。

参加者に四角い平板を配布し、見本の羽子板を参考にして鉛筆で型取りの線を引き電気糸ノコで一人一人慎重に線にそって板を切断し、そのあとで切り取った部分をサンドペーパーをかけて滑らかにして工作終了となりましたが、用意した材料

がたくさんあったので参加者各自の好きな形に工作し、楽しい羽子板工作になりました。参加者全員が夢中になり予定の時間では足らずに途中で終了する訳に行かず時間を大幅に延長するほど参加者、運営側ともにけがもなく、充実した楽しい羽子板工作になり満足をしました。是非来年も羽子板工作をやりたいとの希望がありました。

尚、工作した羽子板は各自持帰り絵を描いて年末には高津区役所ロビーで一週間の羽子板作品展を行い市民に楽しんで貰いました。

最後になりましたが、この行事にご協力いただきました各関係者の皆様には感謝申し上げます。ありがとうございました。

AKSC開催 (ボーイスカウト)

AKSC (All Kawasaki Scoutars Convention) は毎年1回、川崎のボーイスカウトの全指導者を対象に行われる研修会です。今回は、「災害ボランティア」について考えようというテーマの基、11月20日～21日にかけて「青少年の家」において開催されました。56名の参加者でした。

第1部は (20日午後) 「災害ボランティアフォーラム」

全体の討議に入る前に基調講演 講師 川崎災害ボランティアネットワーク代表 植山利昭氏

第一討議 初動体制について (各地域毎に小グループ)

第二討議 各地域の動き方

第三討議 地区としての対応

という流れの中で、まず植山氏の基調講演は「日本海沿岸重油流出事故」や「阪神淡路大震災」などの国内はもとより、スペインや台湾での大震災という海外での体験をも含めた貴重なお話を伺うことができ大変有意義でした。又ボランティアとして出かける際の心構え「自分の事は全て自分で完結する」は我々ボーイスカウトのモットー「そなえよつねに」に通ずるものがあると思ひ興味深いものがありました。その他にも、公共機関との連携やチームワークの大切さなどこれからの川崎地区として考えていかなければならないことが山積みであるという認識を新たにしました。

この基調講演を軸にその後各地域毎に別れ、グループ討議を上の内容で行い、夕食をはさんでそれぞれのグループの「まとめと発表」を行いました。「災害ボランティア」という広義のテーマではまとめ難いことが予測された為、「川崎地区として



の」という冠を着けたところ、災害発生時の緊急連絡網の必要性や、備品リストの作成など幾つかの共通項目が見えてきました。

今回得られた事を、今後地区としてどのように対応すべきかという方向で、コミッショナーグループを中心にまとめてみようと考えています。

第2部は (21日午前) 「スキルマーケット」

①地図とコンパス

②ロープワーク

③ゲーム&ソング

それぞれの研究テーマに基づいて技能の向上に努めました。ボーイスカウトのスキル (技能) については、これで終了ということがないだけに皆熱心とその目的に向かって勉強を重ねていました。スキルマーケットについては継続テーマとし相互研究として更なる向上を目指したいものであります。

宮前区子連「自然観察会」

『みつめよう私のまちな自然と生き物』（子ども会）

宮前区子連では、地域の子どもたちを「自然を大切に作る人間に」育成するため、機会をとらえては部分的であるにせよ自然観察会に取り組んできました。

平成8年度からは、区子連の年間事業と位置づけ、まず「私のまちな自然を探そう」ということで出発し、公園の樹木への名札付け、牛乳パックによる紙漉きハガキ作り、子どもフリーマーケットなど手がけてきました。

平成9年度は、自然観察の中に巣箱・餌台作りを取り入れ、緑化センタの見学や県立東高根森林公園愛護会の支援をいただきながら、本格的な自然観察へと移行しました。そして発表会や「植物生息マップ」作りへと発展していきました。

平成10年度からは、全子連の子ども会活性化事業の委託を受け、植物だけでなく動物の観察へと範囲を拡げ、身近な動物の特徴・生息場所・生態などについても講師の話しや質疑応答の中で学び、普段なにげなく見過ごしていた生き物を、これまでと違った目で観察するようになりました。

この自然観察会の基本理念は、『人間は決して自然と対立するものでなく、人間も自然の中の一員として生かされている存在であり、自然と共存するものである。』ということです。

この思いが少しでも子ども達に伝わり、自然を大切に作る人間に育ってほしいと願っています。

平成11年度の観察会もすでに「まとめ」の段階に入っており、まもなく冊子として発表します。

全子連委託事業は、今年度で終了しますが、これを機会に単位子ども会やグループで自然観察会の輪が広がっていくことを願っています。



Linkが発足しました！（ガールスカウト）

平成11年度からガールスカウト川崎市連絡会においてヤングリーダーの集い「Link」が発足しました。Linkとはつながるもの、絆という意味で川崎市内で活動しているヤングリーダー、ヤングアダルトの横のつながりを広め、川崎市内のガールスカウトを私たちの力で盛り立てていこうという思いで始まった会です。

現在ヤングリーダー17名、アダルト20名の構成となっており、今年度はLinkの存在をいろいろな人達に知ってもらうことと、Linkのメンバーの横のつながりを深めようという二つの柱を中心に考え活動をしてきました。各メンバーがそれぞれ自分の仕事、勉強の合間に集まり、企画から実施まですべて自分達の手で進めてきました。来年度はさらに自分達でプログラムを立ててキャンプを行ったり、連絡会主催のリーダー講習会に参加し、ソング・ゲームの担当をやらせてもらうなど色々

と企画を立てています。また同世代のリーダーだけではなく私たち次の世代や先輩リーダーとの交流も出来るような企画も考えています。

独り立ちしたばかりのLinkですが、これからいろいろな方々のご支援、ご協力を得て一歩一歩実のある活動が出来るよう努力していきたいと思えます。



発行 川崎市青少年育成連盟
事務局 〒211-0053
中原区上小田中6-22-5

エポック中原5階
TEL 044-733-3951
印刷 西桜印刷株式会社